

戦後80年の節目を迎えた憲法 参議院選挙に勝利し 憲法の価値を具現化する政治を

憲法記念日の5月3日、立憲民主党は「平和を希求し、権力の行使を統制し、個人の尊厳を確保するという憲法の価値を具現化する歩みは恒常的に続けなければならない」「権力の行使を抑制し、人権保障を確実にするという立憲主義の精神にのっとりた政治、まっとうな政治を創っていきます」との談話を発表しました。それに先立つ4月24日、衆議院憲法審査会において、臨時会召集期限に関する自由討議が行われました。立憲民主党の松尾明弘、五十嵐えり、柴田勝之の各議員の発言を紹介します。



松尾議員は、臨時会の召集決定は法的義務であると最高裁で判断されており、学説上も争いはないにもかかわらず、「不当に召集を遅滞する憲法違反が繰り返されている」と指摘。「過去の憲法違反事例について、憲法審査会における徹底した原因究明と政治的責任の追及が必要」と訴えました。その上で、立憲民主党は国会法において召集期限を20日と明記する法案を2022年に共同提出しており、20日という数字は「憲法54条や地方自治法など他の法制度とも整合する」として、召集期限法定化の議論を求めました。

五十嵐議員は、新型コロナウイルス流行時に野党がコロナ対策を求めて臨時会を要求したにもかかわらず、召集されなかったことについて、「内閣はいち早く国会機能維持のため



めに臨時会を召集して、コロナ対策を何とかして国会で審議する必要があったのではないかと批判。

「国会議員の任期延長をしても国会で審議されなければ何の意味もない」として、「臨時会も開かない与党が国会機能維持として国会議員の任期延長を主張すること自体矛盾そのもの」と指摘しました。



柴田議員は、「各院の4分の1という少数派に召集要求権を認めた制度の趣旨からして、その合理的期間の判断に当たっては、多数派である政府・与党側の考えや都合を考慮すべき

ではなく、内閣が召集の必要がないなどという理由でこれを遅延させてはならないことも当然」と強調しました。平成29年の臨時会召集要求に対して98日後まで召集せず、召集日に解散し、召集要求の理由とされた事項を議題とできた特別会は132日後になったことに触れ、「明らかに憲法53条後段違反ではないか」と厳しく迫りました。

参議院選挙・東京都議会議員選挙勝利 政治セミナー

日時 6月2日(月) 18:00～19:15 (17:30から通行証をお渡しします)

会場 衆議院第2議員会館 第8会議室(地下1階)

内容 問題提起：参院選・都議選の課題について

講師：辻元清美 立憲民主党代表代行・参議院議員

※オンラインでも参加できます。申し込みはフォーラム事務局まで

組織拡大と 参議院選挙勝利へ決意



青森

第 5 回定期総会は今年から代議員制とし 31 名が出席し開催されました。

冒頭昨年急逝した赤

平泰衛弘前市議へ黙とう。藤田代表からは、今後のフォーラムの在り方について議論を深めること、立憲に感じられる『違和感』の解消、参議院選挙での勝利をめざそうと挨拶がありました。

来賓の立憲青森県連代表代行の升田世喜男衆議院議員は、「石破さんの商品券配布問題で、無いと思っていた衆参ダブル選挙があるかもしれない。心中おだやかではないが、ガンバル」と挨拶。参議院議員予定候補の福士ますみ氏は「マスコミ出身者として、また起業家としての立場から問題意識をもって勝利に向けて頑張る」と決意が述べられました。

その後の討論では、①財政がひっ迫してきており会員の拡大を、②選挙を通して立憲の中にフォーラムの影響力を強めること、③フォーラムとしての独自の運動等などの課題について話し合われ、参議院議員選挙での勝利に向けた決意を固めました。

参院選と佐賀、鳥栖 両市議選の勝利へ



佐賀

4 月 11 日に第 5 回定期総会を開き、会員 62 名（委任状 21 名含む）が参加しました。

中村直人県支部代表あいさつの後、議事に入りました。提案された議案は、①2024 年活動経過報告及び 2025 年活動計画案②2024 年会計決算及び会計監査報告、2025 年会計予算案③2025 年役員体制で、すべて原案通り承認されました。

今年度の重点的な活動は、①県内各支部での会議

の定期開催②6 月に政治セミナー開催予定③10 月の佐賀市議選および 11 月の鳥栖市議選での会員議員の確保④参議院佐賀選挙区で立憲公認の富永明美予定候補の当選に向けた活動などです。また、活動計画が承認された後、10 月の佐賀市議選に立候補予定の徳永文子会員が選挙に向けた決意を述べました（左下写真）。

最後に中村直人代表の団結がんばろうで総会を閉じました。

働く現場の声を政策に 活かしていく党へ

埼玉

4 月 21 日に第 5 回定期総会が、さいたま市浦和区で開催されました。座長に金子彰副代表を選出し、議事が進められました。



当日は、小宮山泰子・立憲民主党埼玉県代表（衆議院議員＝上写真右）、熊谷裕人・同代表代行（参議院議員＝上写真左）、中川直人・社会民主主義フォーラム事務局長を来賓としてお招きし、連帯のあいさつを頂きました。

持田代表は、対話は、他者の意見には、より良い視点がある場合があり、それに着目すべきであり、相手の意見をよく聞いて、自分の主張をしっかりと述べるのが重要であると述べ、7 月の参議院選挙勝利に向け全力を上げようと挨拶しました。

小宮山泰子・衆議院議員は、社民フォーラムの思いを共有しつつ参議院選挙を全力で闘い抜く決意を表明しました。参議院選挙選挙区予定候補者である熊谷裕人・参議院議員は、働く者の現場の声をしっかり聞きながら政策に活かしていく立憲民主党でありたいと述べ、参議院選挙への支援を要請しました。

参加者 4 名から職場、地域での活動が報告され、2024 年活動報告、決算、2025 年活動計画、予算案、役員について、すべて原案通り承認されました。

全国自治体議員夏季研修会

とき 8月17日（日）～18日（月）
会場 宮崎市 ホテル メリージュ